第１学年　国語科　「メディアと表現」～写真と言葉が生み出す世界～

ICT を活用した協働学習（協働学習ｿﾌﾄ『コラボノート』）の指導

１　単元名

メディアと表現

「写真と言葉が生み出す世界」

２　活用場面

国語科授業時

・１次感想の意見交換

・２次感想の提示時

３　活用のねらい

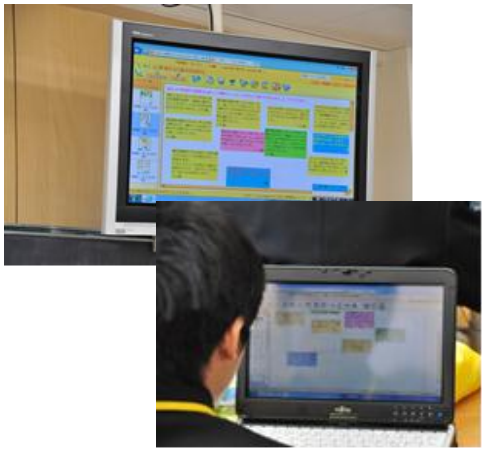
○日頃の授業で行っている協働学習であるが、ＩＣＴを活用することで効率よく進められることを目指した。

○今回は他者の意見をもとに、自己の再考を図る手段として利用を試みた。

考えや意見を付箋で貼り付け瞬時意見を確認し合う（ｺﾗﾎﾞ ﾉｰﾄ）

４　活用のポイント

（１）自席での意見の収受

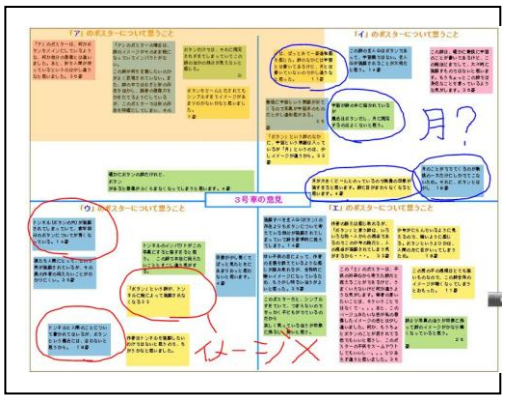


○たくさんの意見の収受を行い自分の考えを再考する作業では、それぞれが発信する音声・文字言語を享受する必要があるが、人数が多くなれば多くなるほど時間がかかる活動になる。しかし ICT を用いることで、短時間で効率よく進めることができる。

○立場を明確にしやすいことから、同意見者間のミーティングが、席の異動なしにして行える。また、同様にそれまでは紙に書いた文字の読み合わせに要した時間も減らすことができて、議論に費やす時間も多くなり内容も豊かになる。

○文字言語を通してであるが、複数の意見を相対的に確認できることから、自らの考えを構築しやすい利点がある。

（２）まとめとして総括に利用



○国語科の授業では、多数の意見を再考したり、まとめることで新たな見解を作り上げるような場面がある。今回は、マイナス意見を元に、自分の良いと思える点をまとめたが、多数の異なる考えに触れ自分の意見を結論づけられた。

○その時間ごとにまとめと評価を行うが、学習の過程が残せたり、前の学習場面に戻ることもできる。また多数に渡る資料も保存しておくことで瞬時に提示でき、総括が容易に行える。

○ネットワーク環境も充実しており、クラスの枠を超えて多数の意見交換が図れ、紙上会議的な学習活動が成り立つ。

５　成果と課題

○ＩＣＴを活用することで、意欲的で活発に相対的な意見をもとにした学習活動が成り立っている。

○生徒たちが作ったデータは保存が容易であり、生徒自身学習資料として過去の記録を用いることができることで、豊かで創造的な学習活動が進められている。